



伊藤 俊亮 *Shunsuke Ito*

1979年6月27日生まれ(28歳) 神奈川県出身
背番号34 204cm/110kg センター



大学時代より日本代表入りし、JBLでは外国籍選手勢にも負けな
い力強いインサイドプレーで活躍を続けてきた日本屈指のセンター。
「フィジカルの強さ」だけではなく「長身ながら速攻にも絡む走力や
瞬発力」を兼ね備えていることも特徴の一つである。「イトン」の
愛称で親しまれる伊藤は、今でこそ日本を代表する選手として名を
馳せているが、中学・高校時代は全国大会にも出場したことのない、
ほぼ無名の選手だった。伊藤が注目を浴びようになったのは、大
学に進学してからのことである。持ち前のパワープレーで、中央大
学をインカレや関東大学リーグ戦で準優勝などに導くと、在学中の
2001年には日本代表選手としてのデビューを果たした。それ以降
も日本代表の常連として、外国人選手に対する恐れを一切見せない
積極的なフィジカルプレーで、日本のゴール下を守り続けてきた。
伊藤の活躍は日の丸を背負う時ばかりではなく、JBL東芝ブレイブ
サンダースへの入団以来、チームを常に上位にキープする原動力
として活躍を重ねてきた。また伊藤は、2003年には最多得票で
オールスターに選出されるなど、実力と人気を兼ね備えた選手とし
ての地位を確立した。伊藤の人気は、オンコートでのプレーもさるこ
とながら、その「力強い闘志溢れるプレー」からはまるで想像のつか
ない「温厚な性格」や「人当たりの良さ」が要因となっている。子供
から大人まで、幅広い層からの支持を受け、ロールモデルとしての
役割も担う選手である。2008年、東芝での6年間のプレーを経て、
リンク栃木ブレックスに入団。2008-09シーズンより外国籍選手の
オン・ザ・コート・ワン・ルール(コートに立てる外国籍選手を1人の
みとするルール)が適用されるJBLにおいては、伊藤の存在価値は
今まで以上に大きくなる。日本が誇るセンター「イトン」の活躍が、
ブレックスの勝敗の鍵を握ると言っても過言ではないだろう。

プレー歴

座間市立西中学校	1992-1995	
↓		
神奈川県立大和高校	1995-1998	
↓		
中央大学	1998-2002	
1998年	関東大学バスケットボール1部リーグ・2位 全日本学生バスケットボール選手権大会・2位	
2001年	関東大学バスケットボール選手権大会・2位 関東大学バスケットボール1部リーグ・2位 全日本学生バスケットボール選手権大会・2位	() 敢闘賞
↓		
東芝ブレイブサンダース	2002-2008	
2003-04年	JBLスーパーリーグ・準優勝	
2004-05年	JBLスーパーリーグ・優勝	
2006年	全日本総合選手権・優勝	

ナショナルチーム・プレ - 歴

<U-24日本代表>

- 2001年 ユニバーシアード夏季競技大会・14位
- 2002年 ウィリアムジョーンズ杯国際バスケットボール大会・4位

<日本代表>

- | | | |
|-------|-------------------|----------------------|
| 2001年 | アジア選手権(上海)・6位 | |
| 2002年 | キリンカップ2002 | アジア競技大会(釜山)・6位 |
| 2003年 | キリンカップ2003 | アジア選手権(ハルビン)・6位 |
| 2004年 | キリンカップ2004 | FIBAアジアスタンコピッチカップ・5位 |
| 2005年 | キリンカップ2005 | アジア選手権(ドーハ)・5位 |
| | キリンインターナショナル2005 | 東アジア競技大会(マカオ)・2位 |
| | アジア選手権東アジア地区予選・4位 | |
| 2006年 | キリンカップ2006 | FIBA世界選手権(さいたま)・17位 |
| | キリンインターナショナル2006 | アジア競技大会(ドーハ)・6位 |

